

## vi 家庭ごみについて

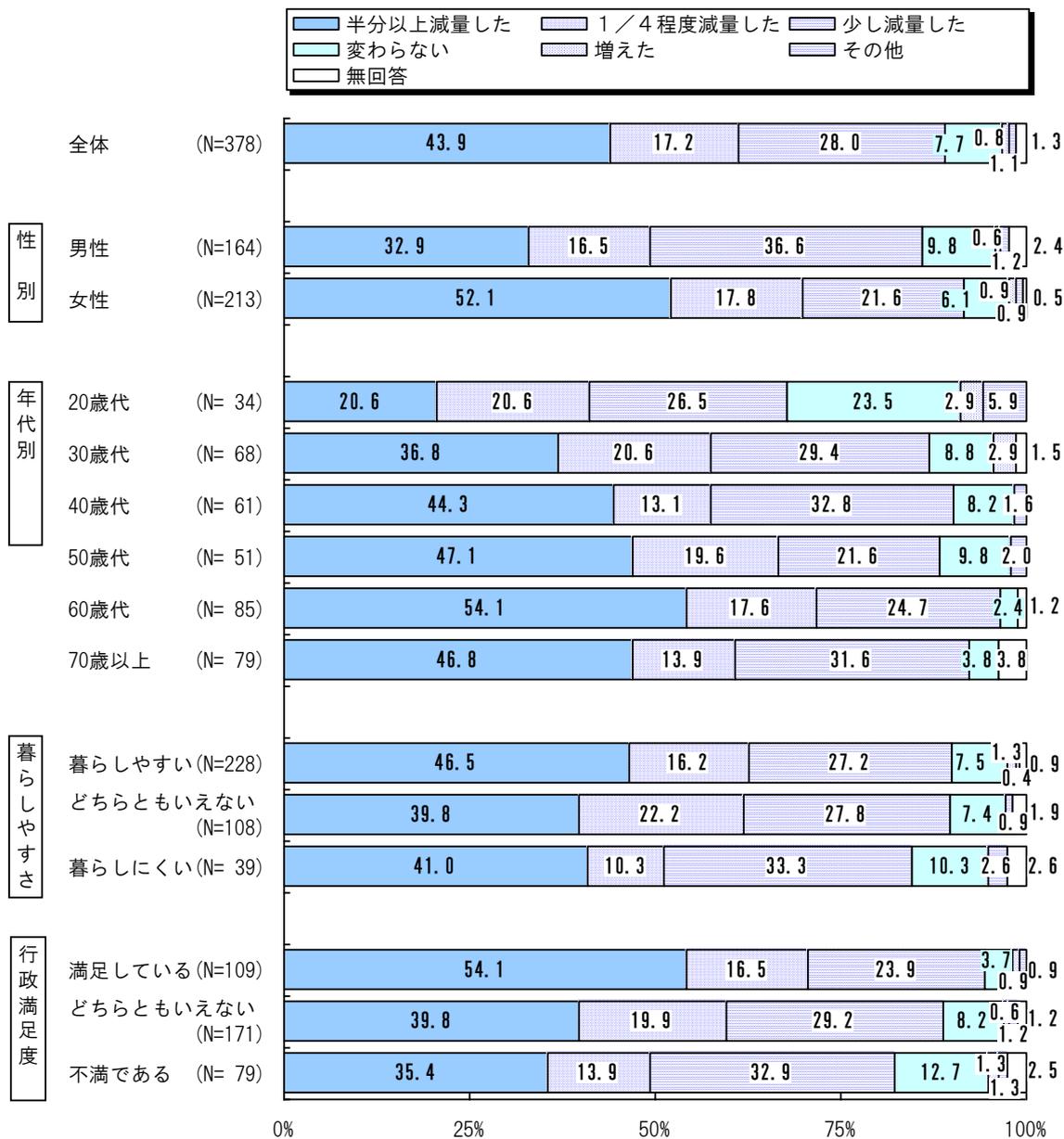
### 25 有料化前のごみの量の変化

問22 ご家庭から出る燃えるごみの量について、家庭ごみ等有料化前の平成21年度と有料化等を実施した平成22年度とを比較してどのようになりましたか。(〇はひとつ)

有料化前のごみの量の変化は、「半分以上減量した」43.9%が最も多く、次いで「少し減量した」28.0%、「1/4程度減量した」17.2%などとなっている。一方、「変わらない」は7.7%となっている。

性別では、“女性”で「半分以上減量した」52.1%が半数を超えている。

年代別では、“40歳代”以上で「半分以上減量した」との回答が多く、特に“60歳代”では54.1%と半数を超えている。一方、“20歳代”は「変わらない」23.5%が他の年代よりも多くなっている。



26 ごみの量が減った原因

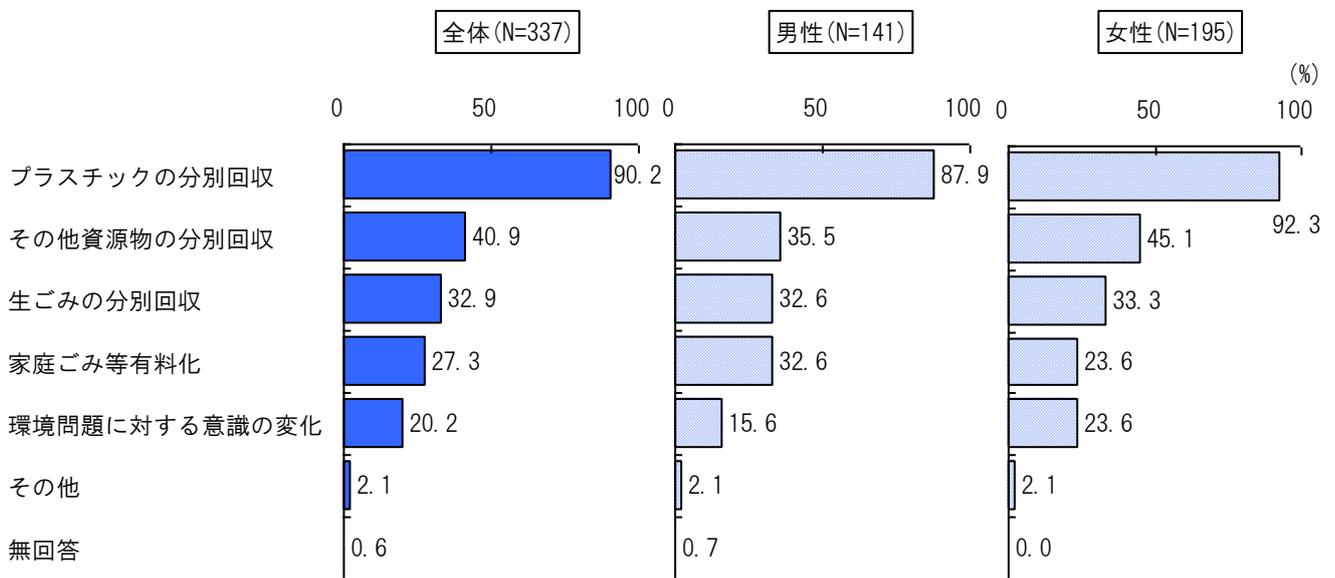
問22で「半分以上・1/4程度・少し減量した」と回答した方

問23 燃えるごみの量が減った原因について、当てはまるものに○をしてください。

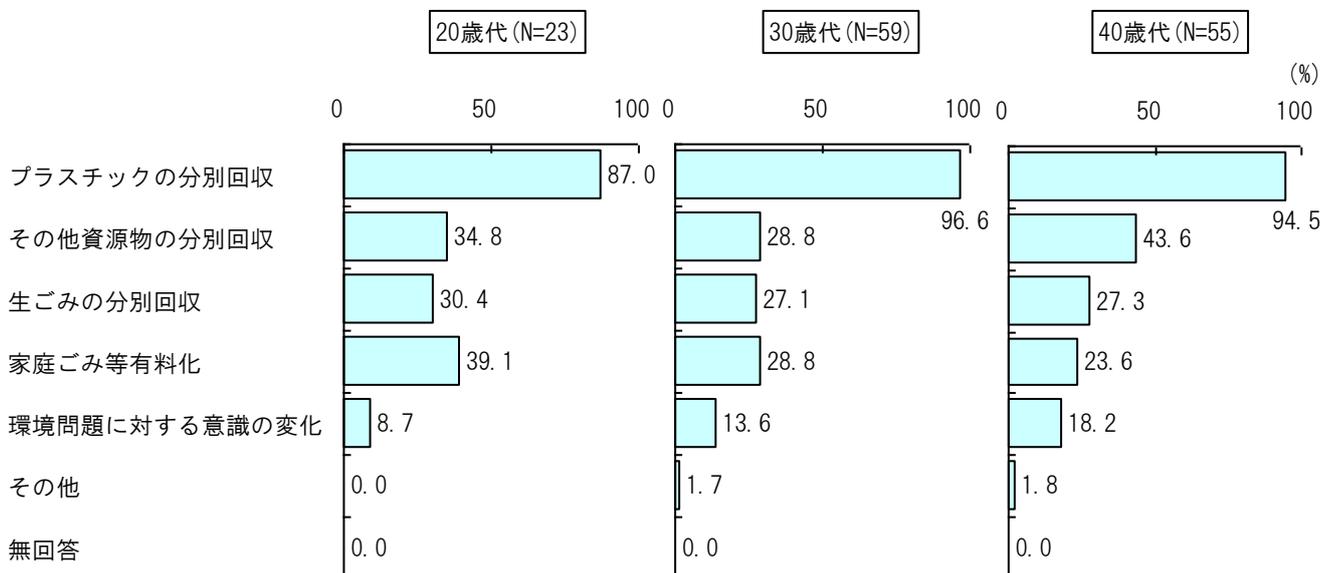
(○はいくつでも)

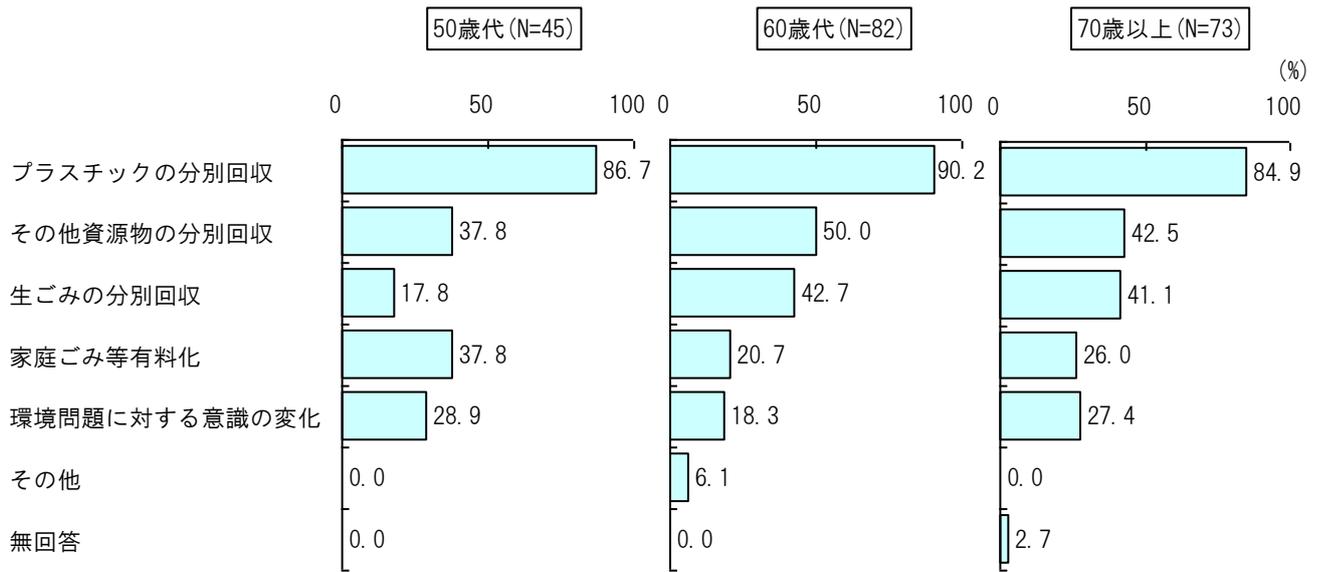
ごみの量が減った原因は、「プラスチックの分別回収」90.2%が最も多く、次いで「その他資源物の分別回収」40.9%、「生ごみの分別回収」32.9%、「家庭ごみ等有料化」27.3%などとなっている。

< 性別 >

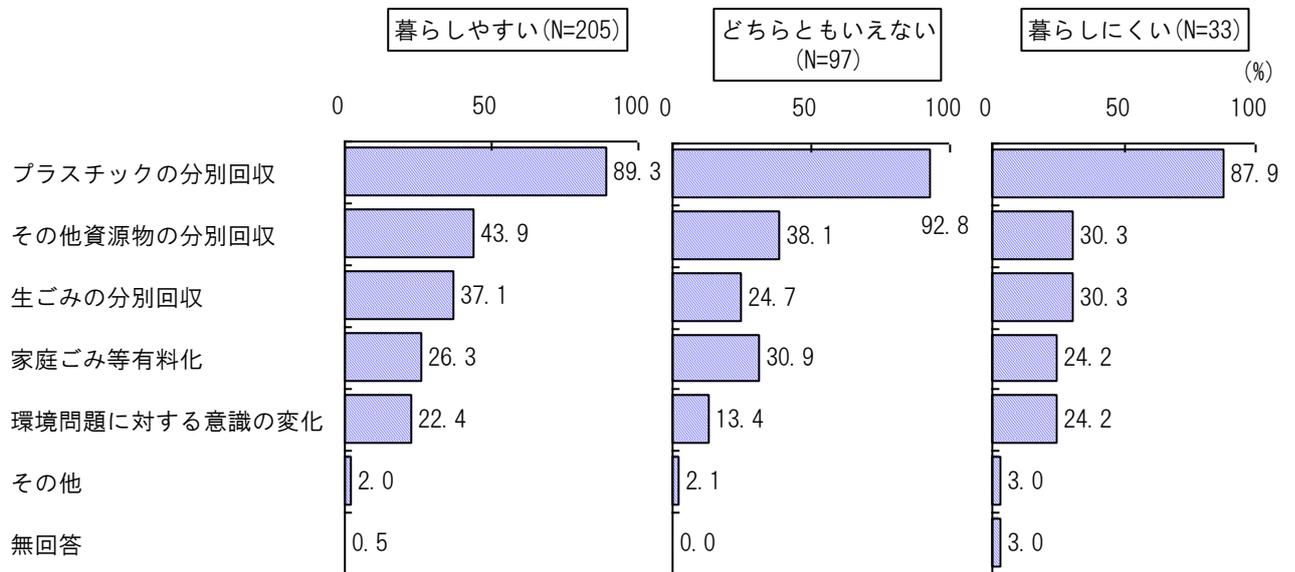


< 年代 >

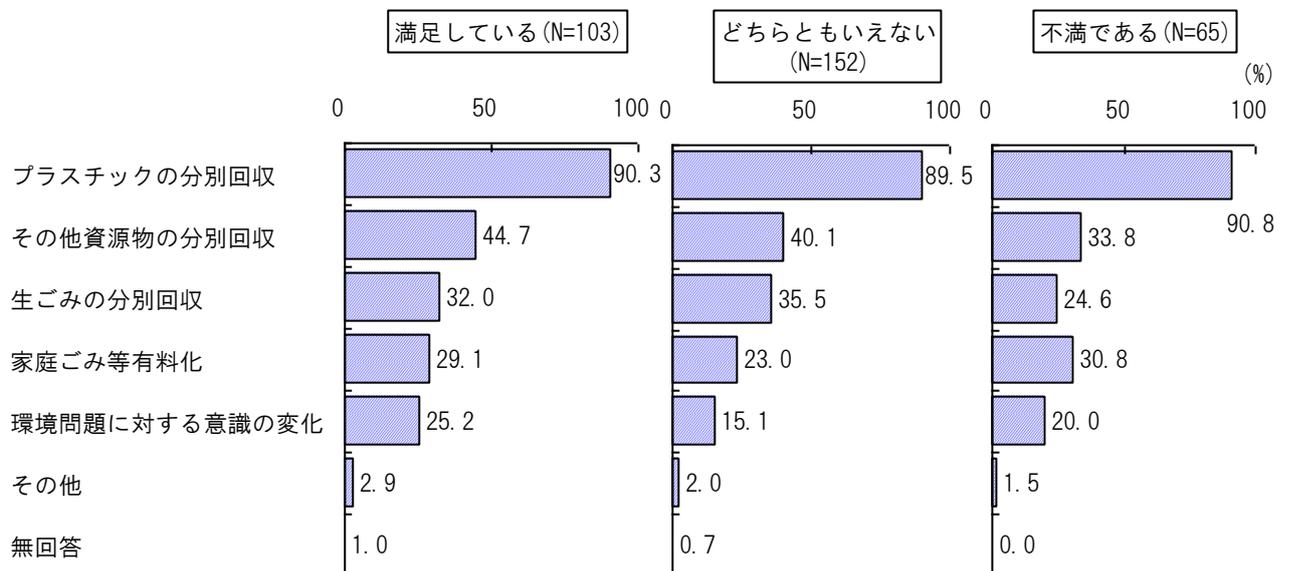




< 暮らしやすさ >



< 行政満足度 >



27 昨年と比較した燃えるごみの量

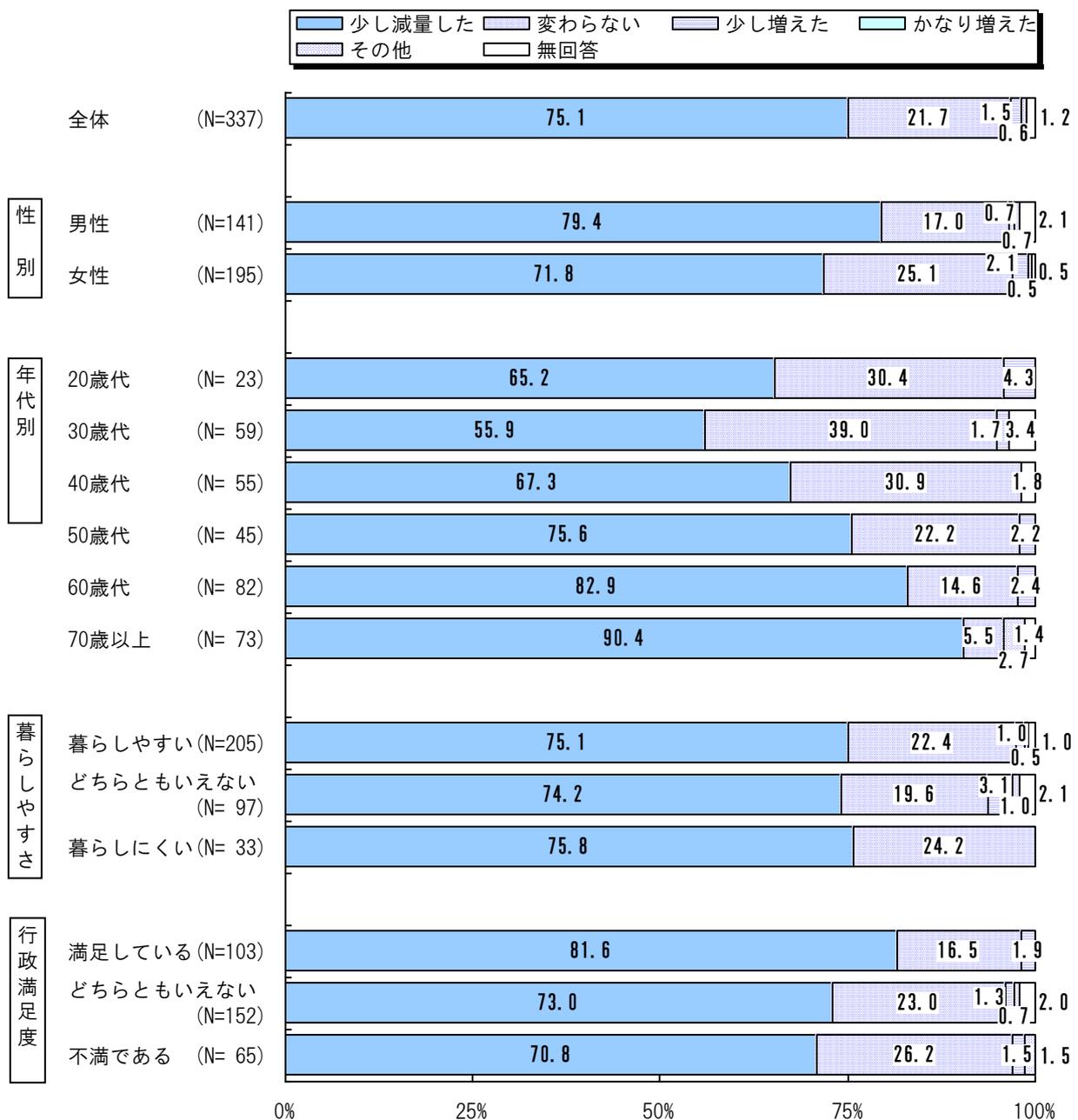
問22で「半分以上・1/4程度・少し減量した」と回答した方

問24 今年の4月～6月の燃えるごみの量について、昨年と比較してどのようになりましたか。  
(〇はひとつ)

昨年と比較した燃えるごみの量は、「少し減量した」75.1%が最も多く、「変わらない」21.7%、「少し増えた」1.5%となっている。

年代別では、“30歳代”は「変わらない」39.0%が他の年代よりも多くなっている。“50歳代”以上は「少し減量した」が7割を超えており、年代が上がるほど多くなる傾向がある。

行政満足度別では、満足しているほど「少し減量した」が多くなっている。

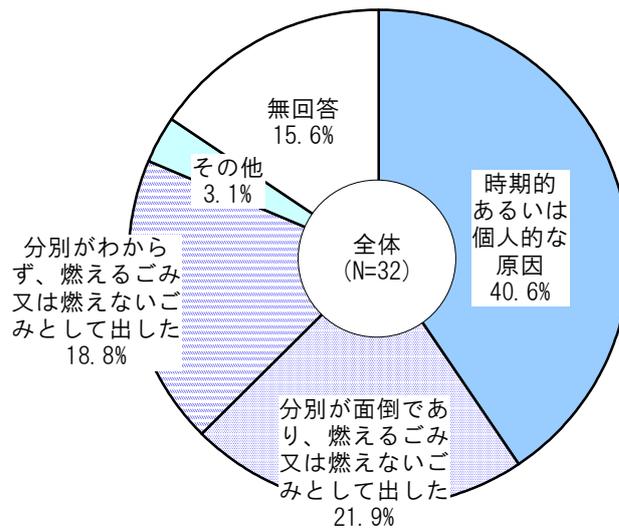


28 燃えるごみの量が変わらない（増えた）原因

問22で「変わらない」「増えた」と回答した方

問25 燃えるごみの量が変わらない又は増えた原因について、当てはまるものに○をしてください。（○はひとつ）

燃えるごみの量が変わらない（増えた）原因は、「時期的あるいは個人的な原因」40.6%が最も多く、次いで「分別が面倒であり、燃えるごみ又は燃えないごみとして出した」21.9%、「分別がわからず、燃えるごみ又は燃えないごみとして出した」18.8%となっている。



29 ごみの量が増えた理由

問24で「少し増えた」「かなり増えた」と回答した方

問26 ごみの量が増えた理由をお伺いします。

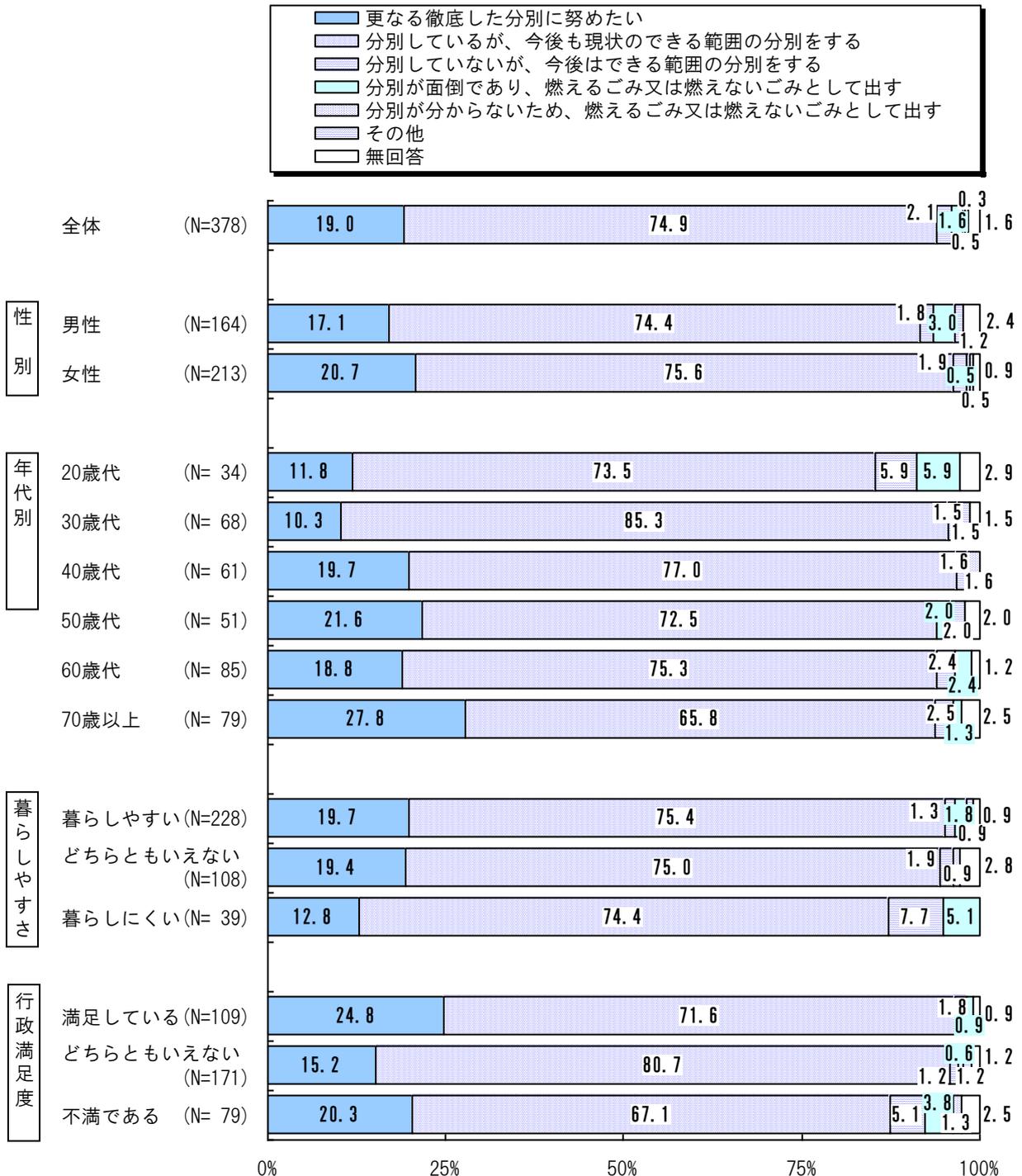
今年の4月～6月の燃えるごみの量が少し（かなり）増えたと回答した人の中で理由を記入しているのは2件でした。

- 汚れたプラスチックゴミが増えた
- 昨年は3月で燃えるごみを目一杯出したため4～6月は減り、一年経って不用品が少し増えたかと思います。

30 家庭のごみの出し方

問27 あなたのご家庭のこれからのごみの出し方についてお伺いします。(〇はひとつ)

家庭のごみの出し方は、「分別しているが、今後も現状のできる範囲の分別をする」74.9%が最も多く、次いで「更なる徹底した分別に努めたい」19.0%、「分別していないが、今後はできる範囲の分別をする」2.1%、「分別が面倒であり、燃えるごみ又は燃えないごみとして出す」1.6%などとなっている。



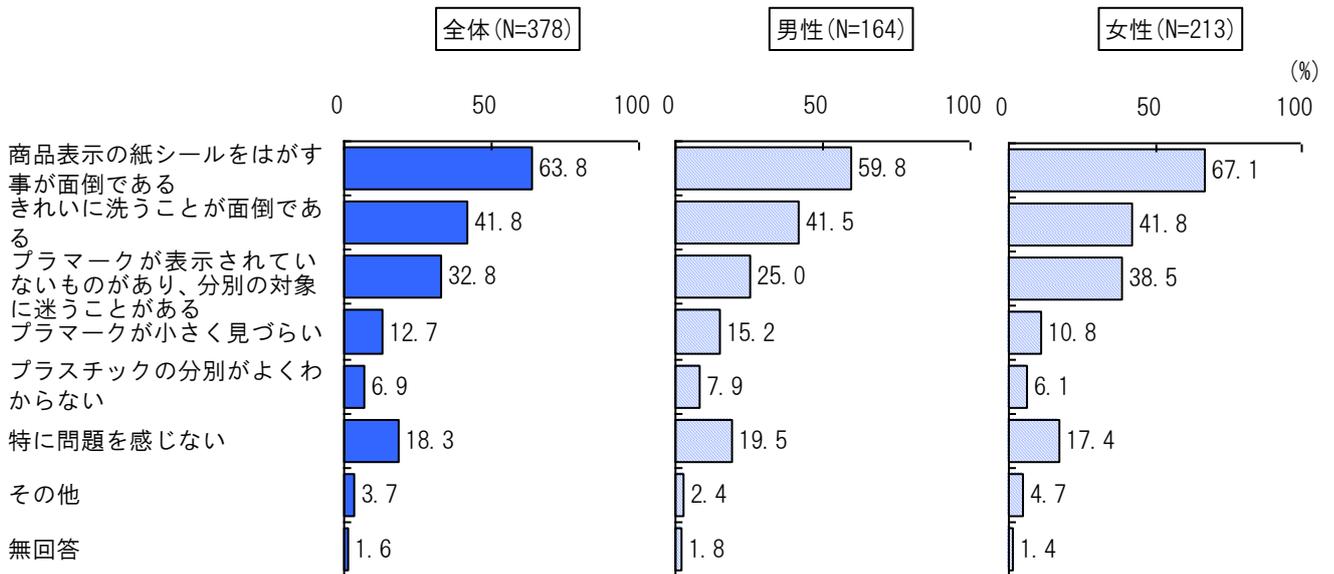
31 プラスチックの分別

問28  プラスチックの分別についてお伺いします。(〇はいくつでも)

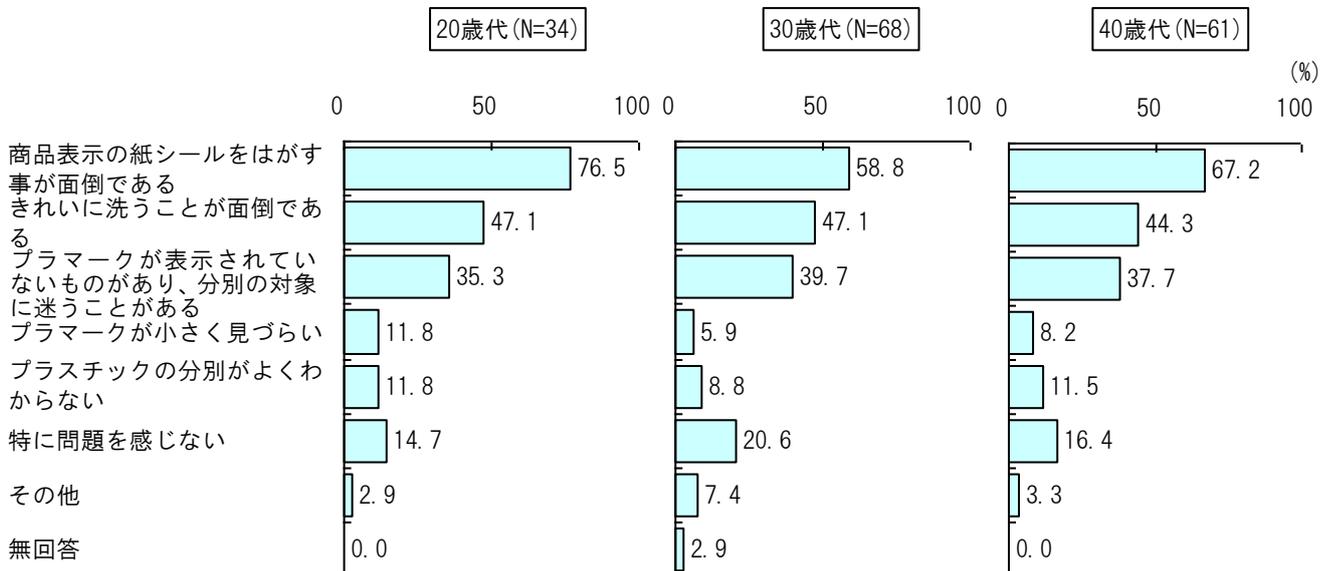
プラスチックの分別は、「商品表示の紙シールをはがす事が面倒である」63.8%が最も多く、次いで「きれいに洗うことが面倒である」41.8%、「プラマークが表示されていないものがあり、分別の対象に迷うことがある」32.8%などとなっている。

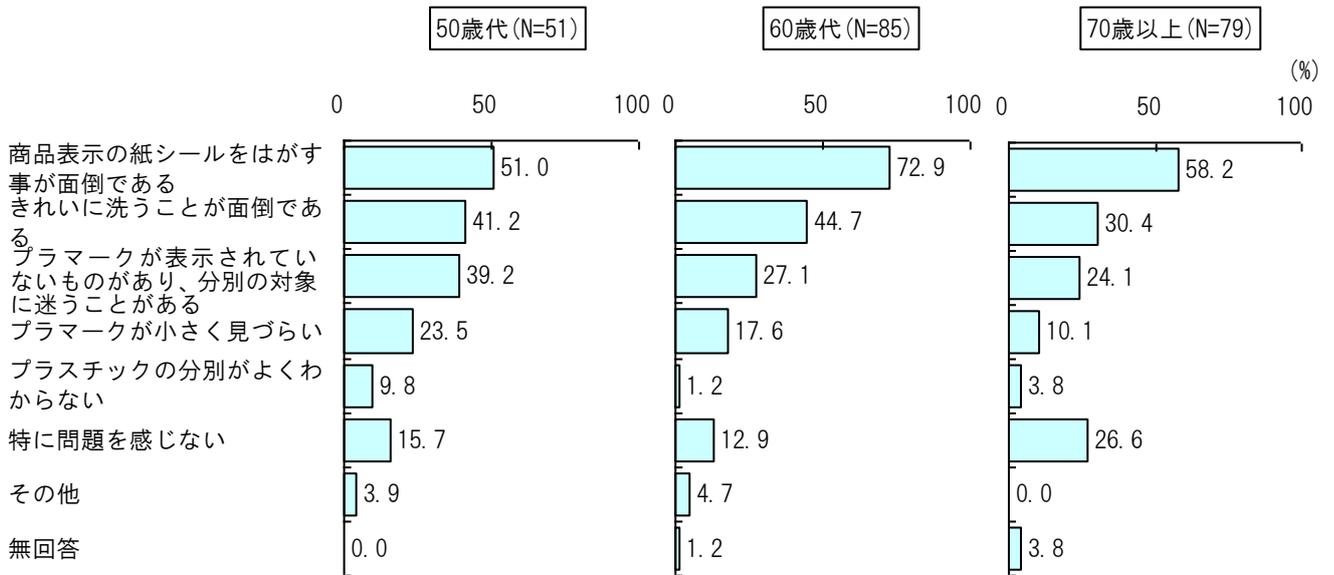
年代別では、“50歳代”は「プラマークが小さく見づらい」23.5%が他の年代よりも多くなっている。

< 性別 >

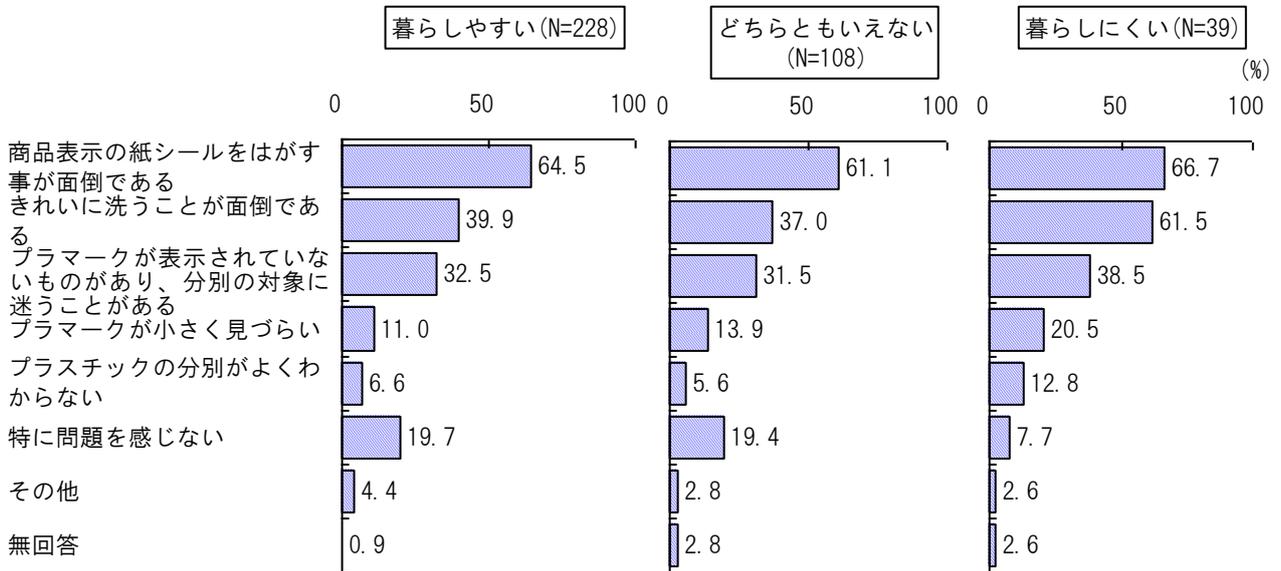


< 年代 >

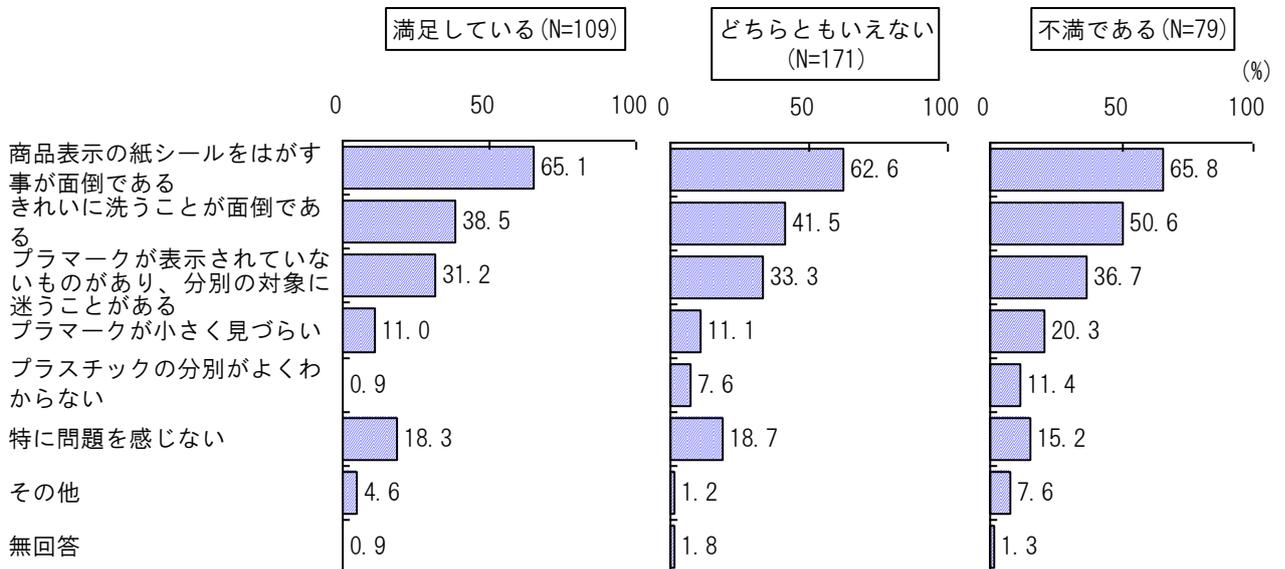




< 暮らしやすさ >



< 行政満足度 >



32 生ごみの分別

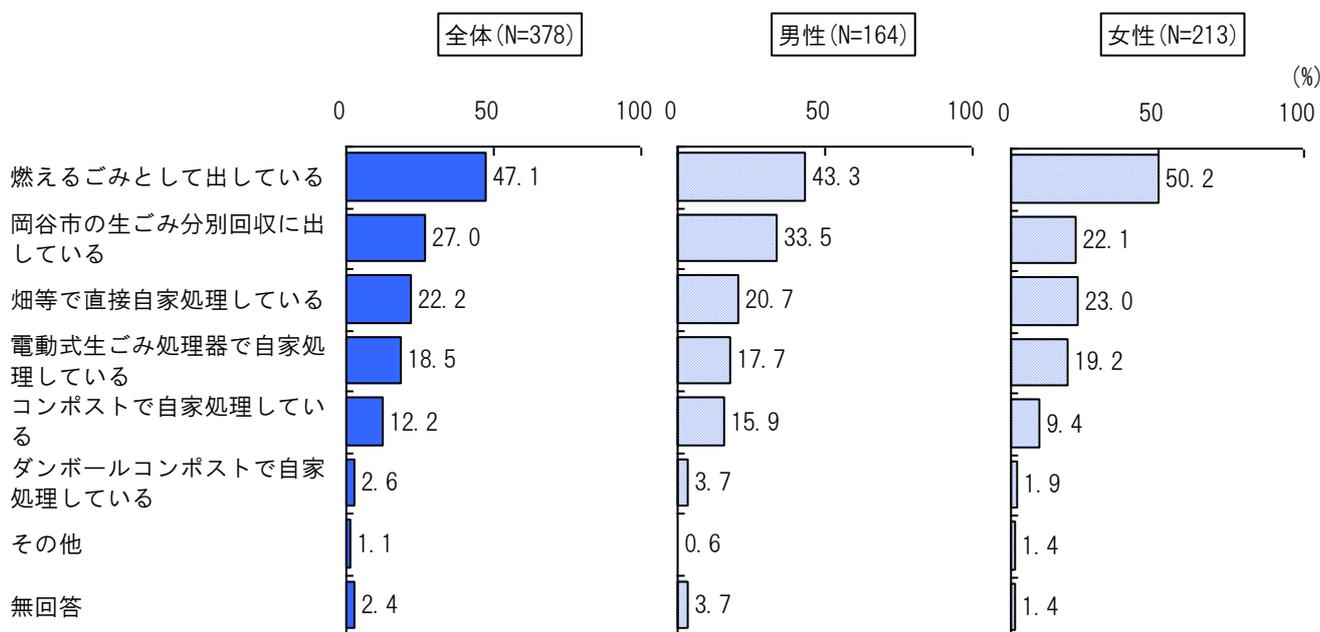
問29 生ごみの分別について、処理方法をお伺いします。(〇はいくつでも)

生ごみの分別は、「燃えるごみとして出している」47.1%が最も多く、次いで「岡谷市の生ごみ分別回収に出している」27.0%、「畑等で直接自家処理している」22.2%、「電動式生ごみ処理機で自家処理している」18.5%などとなっている。

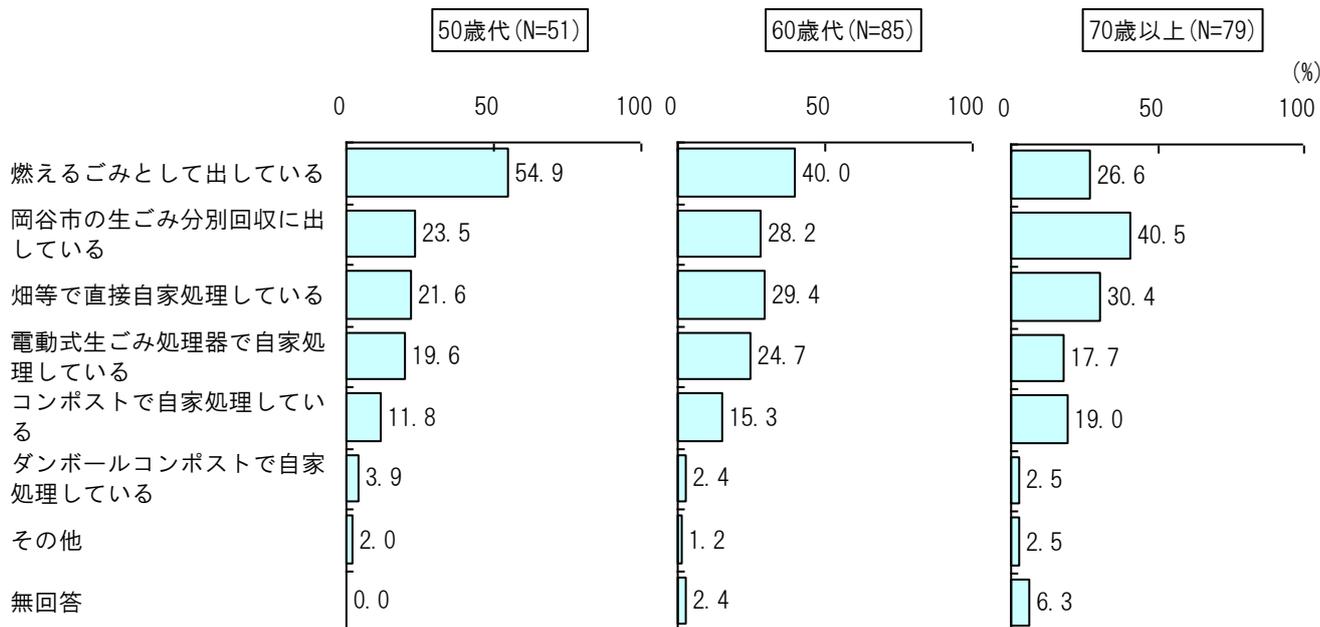
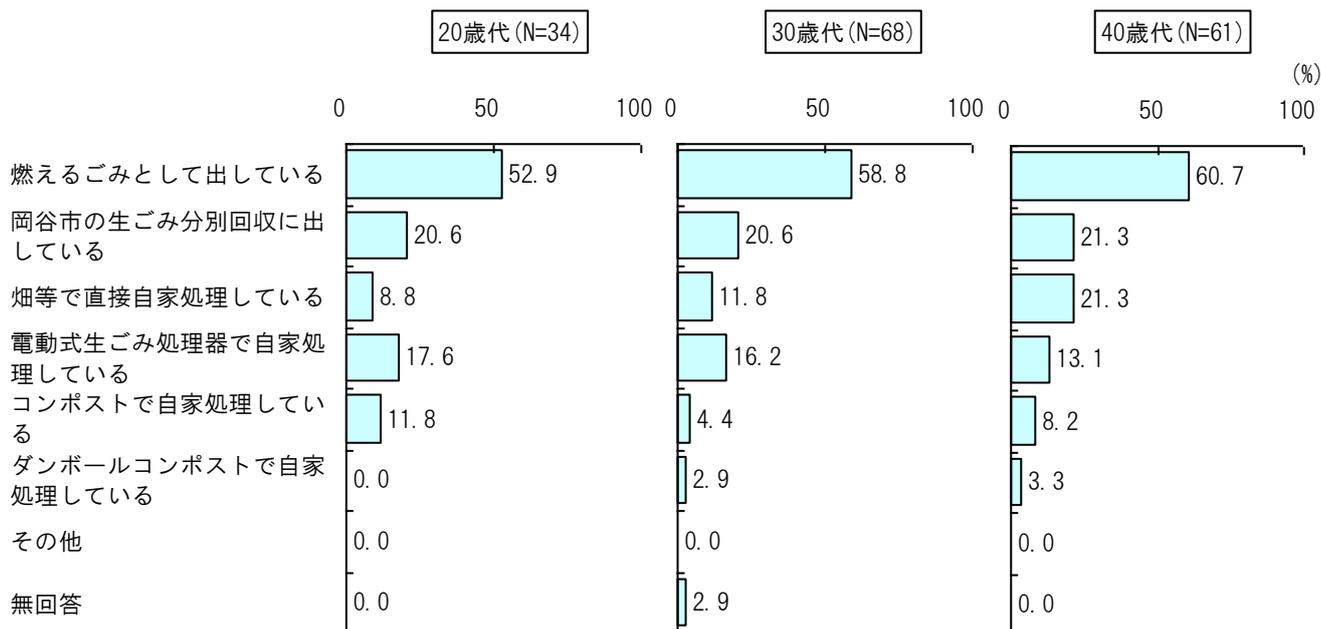
年代別では、“20歳代”から“50歳代”までは「燃えるごみとして出している」が5割を超えている。“70歳以上”は「岡谷市の生ごみ分別回収に出している」40.5%や「畑等で直接自家処理している」30.4%が他の年代よりも多くなっている。

暮らしやすさ別では、暮らしにくいほど「燃えるごみとして出している」が多くなっている。

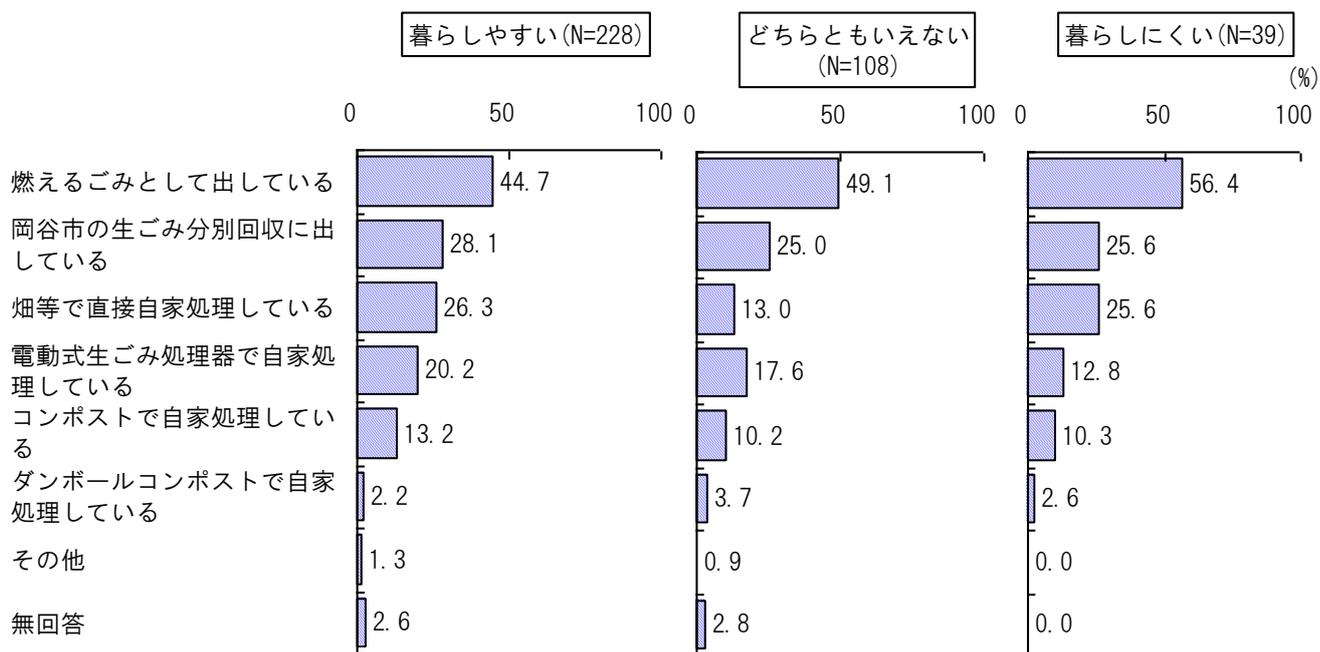
< 性別 >



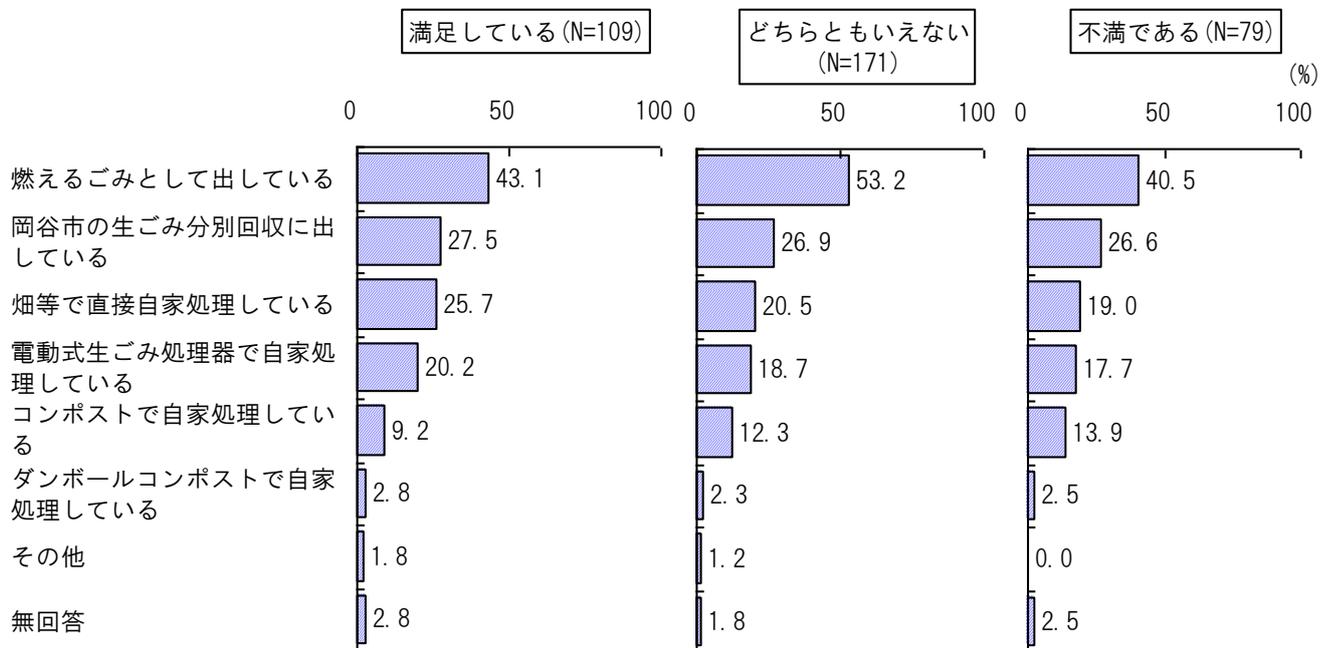
< 年代 >



< 暮らしやすさ >



< 行政満足度 >



### 33 燃えるごみとして出している理由

問29で「燃えるごみとして出している」と回答した方

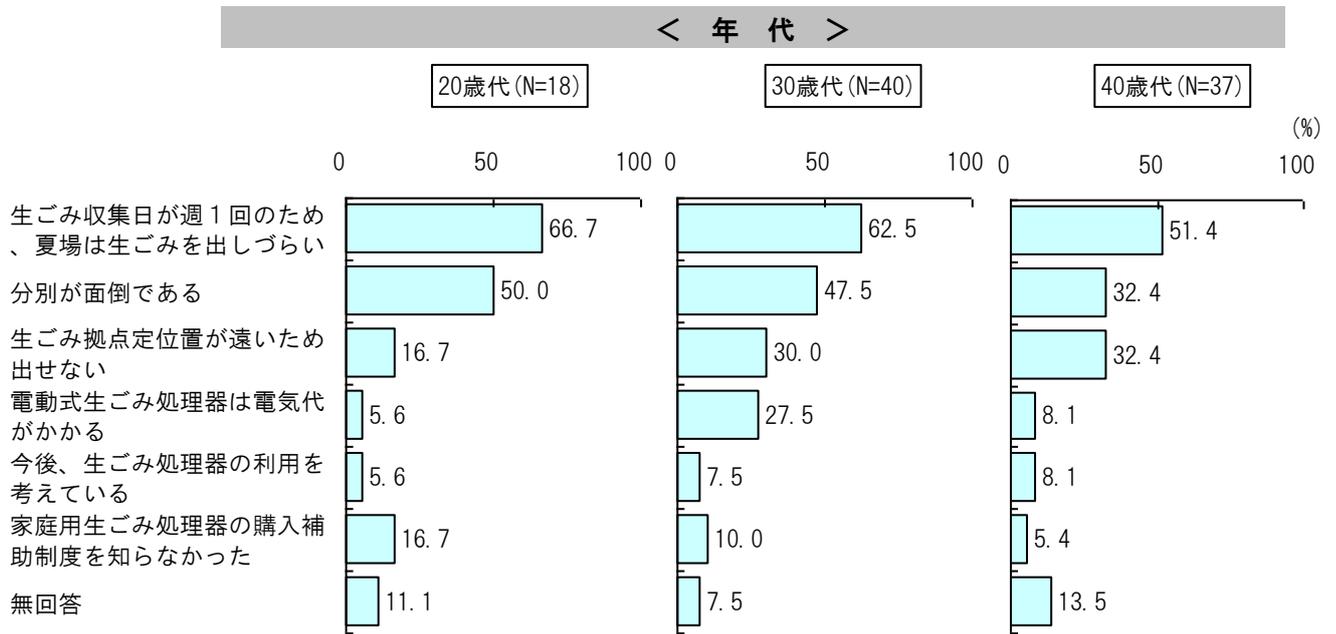
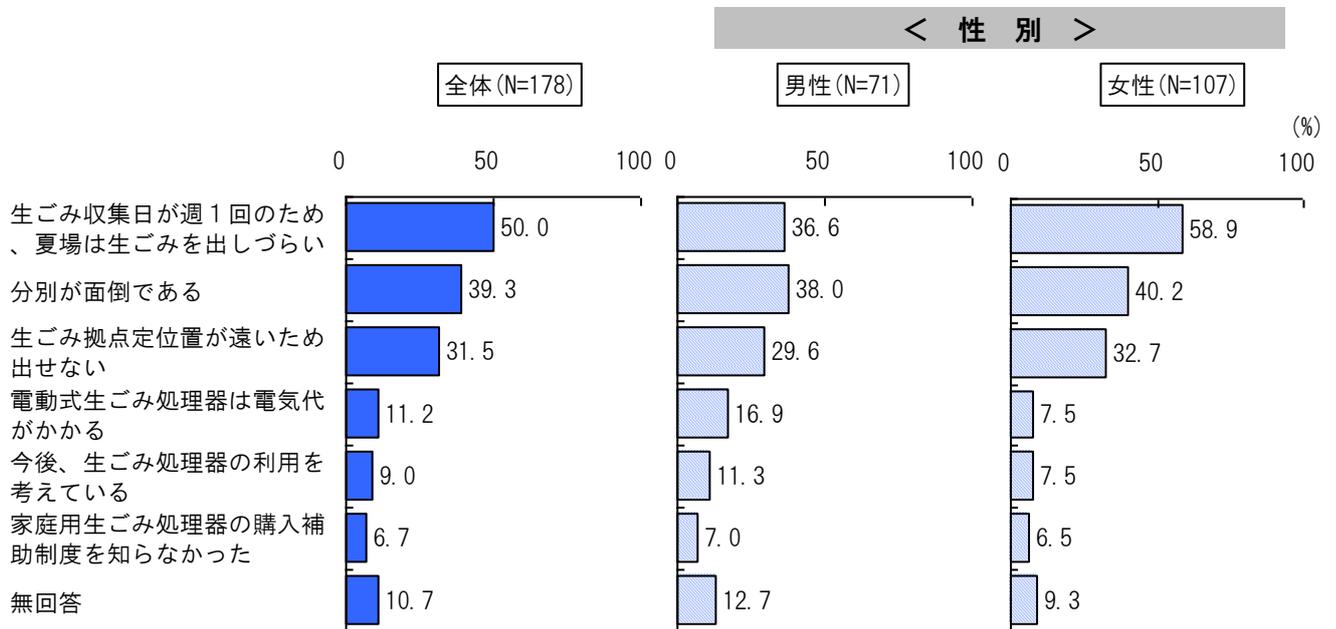
問30 理由をお伺いします。(〇はいくつでも)

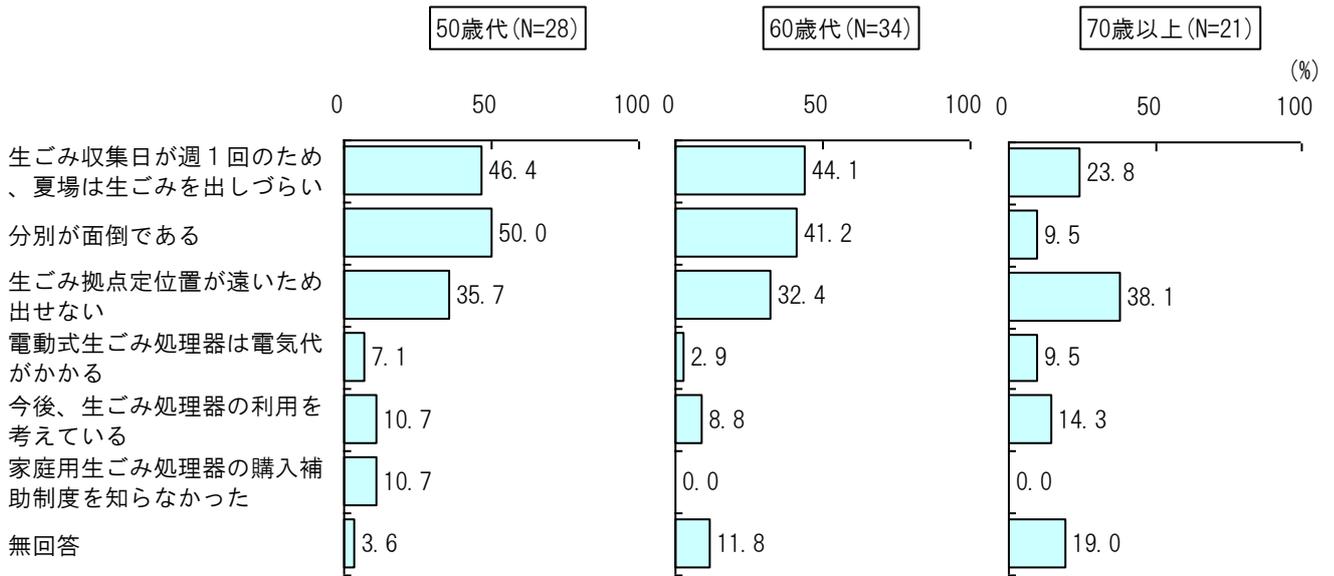
燃えるごみとして出している理由は、「生ごみ収集日が週1回のため、夏場は生ごみを出しづらい」50.0%が最も多く、次いで「分別が面倒である」39.3%、「生ごみ拠点定位置が遠いため出せない」31.5%などとなっている。

性別では、“男性”は「分別が面倒である」38.0%が、“女性”は「生ごみ収集日が週1回のため、夏場は生ごみを出しづらい」58.9%が多くなっている。

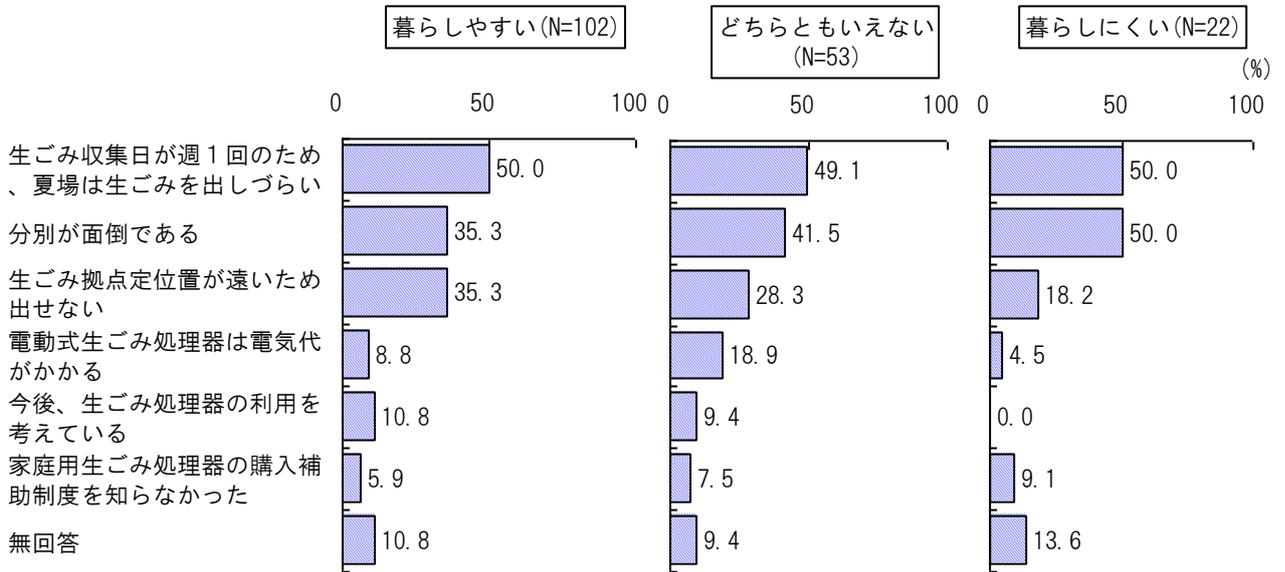
暮らしやすさ別では、暮らしにくいほど「分別が面倒である」が多くなっている。

行政満足度別では、満足度が低いほど「分別が面倒である」が多くなっている。





< 暮らしやすさ >



< 行政満足度 >

